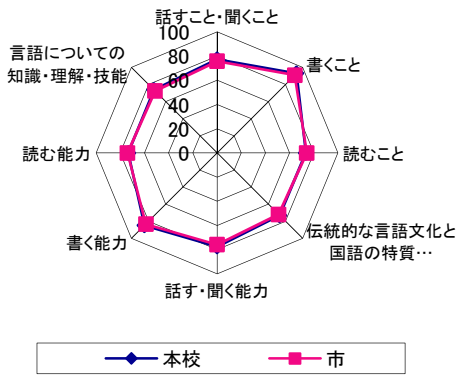


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	話すこと・聞くこと	77.4	75.9	72.1
	書くこと	93.0	91.0	79.2
	読むこと	73.4	74.1	71.1
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.0	72.0	73.0
観点別	話す・聞く能力	77.4	75.9	72.1
	書く能力	84.9	83.3	72.2
	読む能力	73.4	74.1	71.1
	言語についての知識・理解・技能	73.7	72.5	72.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	○平均正答率は市の平均よりも1. 5ポイント高い。 ○話し手の意図を考えながら話し合いの内容を聞く問題では、市の平均を1. 7ポイント上回っている。 ○司会者の役割を理解し、立場や意図を明確にして話し合う問題では、市の平均を0. 4ポイント上回っている。 ○話し手が話し合いのテーマから外れた発言をした時に、司会者がどのようなアドバイスをしたらよいかを問う問題では、市の平均を2. 6ポイント上回っている。	・テーマに沿って話し合いをしたり、役割を理解して司会をしたりする活動を積極的に取り入れ、状況に応じて問題を解決する力を身に付けられるようにする。 ・日常生活においても、相手に分かりやすく話すことや、よく聞いて話し手の意図を理解することができるようにするため、個に応じた指導の充実を図る。
書くこと	○平均正答率は、市平均より2. 0ポイント高い。 ○指定された条件に合わせて文章を書く問題では、長さについては4ポイント、2段落構成で書くことについては5. 3ポイント、市平均を上回った。 ●AさんとBさんの意見のうちどちらに賛成かを書く問題では、理由を書く設問で市平均を0. 6ポイント下回った。また、なぜみかん作りに向いているかという理由を書く問題でも、市平均を1. 9ポイント下回った。	・作文を書くときの条件はよく理解できているので、今後も機会あるごとに文章を書く活動を取り入れ、継続した指導を行う。 ・自分の立場を明らかにして意見を述べるとともに、その理由を明確に述べるができるよう、各学年の授業で発達段階に応じた作文指導を十分行うようにする。
読むこと	○物語文において、叙述を味わいながら読む問題は、市平均を0. 3ポイント上回っている。 ○説明文において、文章の内容を正しく読み取る問題は5. 3ポイント、文と文の相互関係を読み取る問題は1. 3ポイント、市平均を上回っている。 ●平均正答率は、市平均より0. 7ポイント下回っている。 ●説明文の目的や必要に応じて文章の内容を的確に読み取る問題は、市平均を7. 2ポイント下回っている。	・物語文や説明文の内容を読み取る授業では、登場人物の心情や様子を的確に読み取れるよう、読解にかかる時間を十分確保する。 ・物語文の内容を読み取る力を十分身に付けさせるため、登場人物の様子や心情の変化、自然の描写との関わりなどを、丁寧に読ませるようにする。 ・説明文の内容を読み取る力を十分身に付けさせるため、段落ごとの内容を要約したり、文と文、段落と段落の関係を明らかにして読んだりする活動を十分に行う。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	平均正答率は、市平均よりも1. 0ポイント上回っている。 ○5年の漢字の書きについては、「罪」が3. 2ポイント、「増減」が12. 5ポイント、市の平均よりも高い。 ●6年の漢字の読みでは「寒暖」が7. 2ポイント、5年の漢字の書きでは「評価」が7ポイント、市の平均よりも低い。 ○3字の熟語の理解は8. 5ポイント、俳句の理解は5. 2ポイント、市の平均を上回っている。 ●謙譲語の使い方は、市平均を2. 2ポイント下回っている。	・漢字の読み書きについては、学年に応じた力が十分身に付くように継続して指導を行う。 ・読書を推奨して本に触れる機会を増やしたり、辞書を十分活用させたりして、文章の中での熟語の使い方が習熟できるようにする。 ・俳句や短歌、慣用句や名言などを学ぶ学習においては、それらに触れる機会を増やすためにも、本などを活用した調べ学習や読書に十分時間を取るようになる。